

STATION Ai

国内スタートアップ支援事業の成果及び今年度事業について

愛知県は、2018年10月に「アイチ スタートアップ Aichi-Startup戦略」を策定し、この戦略に基づき、スタートアップ・エコシステムの形成・充実に努めています。

こうした中で、昨年10月には、日本最大のスタートアップ支援拠点である「ステーション エーアイ STATION Ai」（名古屋市昭和区）が開業しました。3日間にわたって開催されたオープニングイベントには約4,000名が来場し、華々しい幕開けとなりました。

STATION Ai では、現在スタートアップ約500社、事業会社や大学などのパートナー企業約320社が会員となっており、スタートアップに必要な施設機能と支援プログラムを、ワンストップ・ワンルーフで提供するとともに、スタートアップとパートナー企業のオープンイノベーションを促進することで、革新的な事業の創出を図っています。

この度、STATION Ai を始めとする国内スタートアップ支援事業の成果及び今年度事業について、別添のとおりお知らせします。

(参考) 国内スタートアップ支援事業の一覧について

事業名		ステージ (※)	内 容
STATION Ai 事業	(1) 包括型支援 (会員を対象に提供する支援)	Seed & Expansion	・メンター、コミュニティマネージャーによる、相談・支援等の総合支援 ・人材採用支援 ・ギルドの運営や勉強会、ピッチイベントの開催によるコミュニティの構築 ・「ステーション エーアイ センtral ジャパン STATION Ai Central Japan 1号フアンド」によるスタートアップへの投資
	(2) 特化型支援 (主に会員を対象に経営課題や成長フェーズごとに特化して提供 する支援)	Seed Early	・社会人向け起業家育成プログラム アクティベーション ラボ「ACTIVATION Lab」 ・学生向け起業家育成プログラム スタッフス「STAPS」 ・プレシード向け支援プログラム ステーション「STATION エーアイ カタパルト Ai Catapult」 ・重点領域プログラム アイチ「Aichi マニファクチャリング アクセラレーション Manufacturing Acceleration プログラム アイチ ジーエックス Program」・「Aichi G X アクセラレーション プログラム Acceleration Program」 ・オープンイノベーション支援プログラム スキップ フォーカス「SKIP Focus」

事業名			ステージ (※)	内 容
2 エコシステム形成 事業	裾野拡大	(1) あいちスタートアップスクール	—	小中高生を対象に、模擬会社設立ワークショップなど、各世代に応じた起業家育成プログラムを実施
	資金調達支援	(2) アイチ スタートアップ AICHI STARTUP バトル BATTLE	Seed	起業確度が高い者等を対象として、知見・資金両面でサポートする、起業支援一体型の起業家ビジネスプランコンテストを実施
		(3) アイチ ネクスト AICHI NEXT ユニコーン リーグ UNICORN LEAGUE	Seed Early	成長見込みの高い創業初期のスタートアップを対象に、ピッチコンテストを開催し、事業推進に必要なとなる資金を提供
		(4) あいちスタートアップ創業支援事業費補助金（起業支援金）	Seed	県内で新たに起業する者等に対し、創業に関する資金を補助するとともに、事業成長に向けた伴走支援を実施
		(5) 東海研究開発1号投資事業有限責任組合への出資	Seed ↳ Expansion	名古屋大学と岐阜大学を運営する東海国立大学機構の孫会社である株式会社 セントラル ジャパン Central Japan イノベーション キャピタル Innovation Capitalが組成する「東海研究開発1号投資事業有限責任組合」への出資
	成長促進支援	(6) アイチ AICHI ディープテック ローンチパッド DEEPTech LAUNCHPAD	Seed Early	破壊的イノベーションを創出し、社会課題を解決する可能性が高いディープテックスタートアップの技術の社会実装支援及び、有望なディープテックスタートアップが連続的に創出されるエコシステムの形成
		(7) ダイバーシティ推進事業（2025年度新規）	Seed ↳ Expansion	多様な人材の集積と交流を通じたイノベーション創出を目的に、女性起業家支援等のダイバーシティを推進するプログラムを実施
	イベント	(8) テック ガラ ジャパン TechGALA Japan	—	本県のスタートアップ・エコシステムの魅力をグローバルに発信するため、国内外のスタートアップ、事業会社、投資家等が一堂に会するグローバルイベントを開催
	外部機関連携	(9) 県内連携 (STATION Ai パートナー拠点事業)	—	愛知県内各地域において、主体的にスタートアップ支援に取り組む機関等を STATION Ai パートナー拠点と位置づけ、県内全域にわたるスタートアップ・エコシステムの形成を促進
		(10) 県外連携 ※国外機関を除く	—	東京都及び京都大学イノベーションキャピタル株式会社との連携協定を通じて、県外の優れた知見を積極的に取り入れ、スタートアップ支援の質をさらに高め、イノベーションの創出を加速

※ シード スタートアップの成長ステージについて

【Seed】…創業期。コンセプトやビジネスモデルは存在するが、具体的な製品やサービス自体は未完成の状態。

アーリー 【Early】…事業化初期。製品やサービスを実際に開発し、リリースを始めた状態。

エクスパンション 【Expansion】…成長期。製品やサービスの販売が軌道に乗り、黒字化が見えてきた状態。

国内スタートアップ支援事業の成果及び今年度事業について

1 STATION Ai

STATION Ai では、現在スタートアップ約 500 社、事業会社や大学などのパートナー企業約 320 社が会員となっています。スタートアップに必要な施設機能と支援プログラムをワンストップ・ワンルーフで提供することで、開業 5 年後をめどにスタートアップ 1,000 社の集積を目指しており、世界最大のスタートアップコミュニティを形成していきます。

世界でも最先端の技術・ノウハウを保有するモノづくり企業や大学等をパートナー企業として STATION Ai へ誘引し、スタートアップとのオープンイノベーションを促すことで、新たな価値創造を図っています。

STATION Ai の開業に先立ち、WeWork^{ウィーワーク}グローバルゲート名古屋（名古屋市中村区）内に設置された「PRE-STATION Ai^{プレステーション エーアイ}」において、2021 年度から STATION Ai の開業までの期間、会員スタートアップに対して事業の伴走支援を実施しました。

2024 年 10 月 31 日から 11 月 2 日にかけては、STATION Ai の開業を記念したオープニングイベントを開催し、愛知県と連携する海外支援機関や大学等の関係者を始め、約 4,000 名の方々に御来場いただき、華々しい門出を迎えることができました。

開業後は、STATION Ai の運営を担う STATION Ai 株式会社が、成長ステージに応じた多様な支援プログラム等を提供しています。

(1) 包括型支援

◎ 2024 年度事業概要

① 相談・支援業務の実施

スタートアップに対して、起業準備、資金調達、マーケティング、販路開拓、ファイナンス、法務、知的財産施策等の相談対応を実施。STATION Ai 開業後は、スタートアップに加え、事業会社や行政機関等に対する相談対応を実施。

② スタートアップの人材採用支援の実施

スタートアップで働きたい社会人や学生・フリーランスの人材プールの構築や、大企業人材に対するスタートアップへの研修出向の斡旋、スタートアップとの人材マッチングイベントの開催を通じて、人材採用を支援。

③ ギルドの運営や勉強会、ピッチイベントの開催によるコミュニティの構築

会員同士が支援し合うコミュニティ「ギルド」の運営、起業成功者等を講師とした勉強会や外部の事業会社等を招待したスタートアップのピッチイベントを開催し、STATION Ai 会員内外のコミュニティを構築。

④ STATION Ai Central Japan 1 号ファンドによるスタートアップへの投資実行

STATION Ai 株式会社を GP^{*1}とし、ソフトバンク、愛知県、名古屋市、地域の金融機関や事業会社等が LP^{*2}として出資する STATION Ai Central Japan 1 号ファンドにより、STATION Ai 会員に対する投資を通じて、スタートアップの資金調達を支援。

※1 GP (General Partner 無限責任組合員) : ファンドの運営者

※2 LP (Limited Partner 有限責任組合員) : 投資資金の出し手

◎ 事業の成果

項目	内 容
包括型支援による成果	・ イベントの実施 326 件（専門家による相談会（オフィスアワー）を含む） ・ 資金調達件数 56 件 ・ 起業件数 19 件 ・ 人材採用実績 11 件

◎ 具体的な成果事例

1	「STATION Ai Central Japan 1 号ファンド」から投資を受けた、世界でも珍しい「狭くて、暗くて、危険な」かつ「屋内空間」の点検・計測に特化した世界最小級のドローンの開発及び画像データを解析し顧客に提供するインフラ点検・維持管理ソリューションを提供する株式会社 ^{リベラウェア} Liberaware（千葉県千葉市）が、東証グロース市場に新規上場。
2	STATION Ai で開催したスタートアップ採用特化の人材マッチングイベント ^{イノベーション ジョブ フェア ニセンニジュウヨン スタートアップ デイ アイチ} 「INNOVATION JOB FAIR 2 0 2 4 STARTUP DAY AICHI」において、22 社のスタートアップが出展し、11 名の人材を採用。

◎ 2025 年度事業について

2024 年 10 月のグランドオープンを経て本格的な事業展開を開始し、スタートアップへの伴走支援を一層強化するとともに、製造業を始めとする県内事業会社等との連携によるオープンイノベーションの創出を図っていきます。さらに、アジアのイノベーションハブとしての機能を高めるため、次世代のイノベーションを育む場としての役割を果たしていきます。

内 容	対象者	実施頻度	実施期間
各種相談（起業準備、資金調達、マーケティング、販路開拓、ファイナンス、法務相談、知的財産施策等）	STATION Ai 会員	随 時	通 年
メンター等による事業相談	STATION Ai 会員	随 時	通 年
ギルド （会員同士が支援し合うコミュニティの運営）	STATION Ai 会員	随 時	通 年
人材プールの管理・運営 ・ 採用戦略の構築支援 ・ 大企業人材に対するスタートアップへの研修出向の斡旋 ・ スタートアップ採用特化の人材マッチングイベントの開催	スタートアップ、 スタートアップで働きたい者、大企業人材	随 時	通 年

(2) 特化型支援

◎ 2024 年度事業概要

① 社会人向けプログラム「ACTIVATION Lab」

副業・兼業による起業家の発掘・育成を目的に、セミナーや勉強会、ワークショップ、メンタリング等により、参加者への継続的な支援を実施。

② 学生向けプログラム「STAPS(STATION A i Program for Students)」

主に大学生をターゲットに、事業開発や仮説検証、メンタリング、ピッチコンテスト等を提供する短期集中プログラム「STAPS」を実施。「起業を当たり前の選択肢に」をテーマに掲げ、学生の参加しやすい夏・春の年2期実施。

③ プレシード向け支援プログラム「STATION Ai Catapult」

創業直後からシードステージのスタートアップが、プログラム期間中に資金調達に臨める状態に事業成長することを目指すプログラムで、スタートアップの成長ステージに合わせて、30名以上の投資家に相談することが可能。

④ 重点領域プログラム「Aichi Manufacturing Acceleration Program」・「Aichi GX Acceleration Program」

Manufacturing や GX を重点領域として定め、地域経営資源を活用したスタートアップの成長を加速させるため、総合的な事業成長サポートや、県内企業とのマッチング・実証実験支援、コミュニティを形成。

⑤ オープンイノベーション支援プログラム「SKIP Focus (STATION A i Kinetic Innovation Program)」

事業会社を対象に、オープンイノベーションを推進する人材の育成や、スタートアップとの協業を支援するプログラムを実施。

◎ 事業の成果

項目	内 容
特化型支援による成果	・ ACTIVATION Lab セミナー・ワークショップ参加者数 505 名 メンタリング参加者数 19 名 ・ STAPS 参加者数 27 チーム 62 名(夏期)、28 チーム 56 名(春期) ・ STATION Ai Catapult 16 社採択 ・ 重点領域プログラム Manufacturing・GX 各 5 社採択 ・ SKIP Focus 6 社採択

◎ 具体的な成果事例

1	ACTIVATION Lab 第1期メンタリングに参加した青木 俊輔 ^{あおきしゅんすけ} 氏が、医療・介護従事者の書類送付業務の負担を軽減し、患者や利用者に向き合う時間を確保できるツールを提供する「株式会社MEDISY ^{メディシー} 」（名古屋市昭和区）を法人設立。STATION Ai 会員となり継続支援を実施。
2	2025年夏 STAPS に参加した原田優輝 ^{はらだゆうき} 氏が動画コンテンツに対する質問応答 AI システム「VideoQ ^{ビデオキュー} 」を開発。教育プラットフォームでの学習効率向上と企業研修への展開を目指す株式会社coevoAI ^{コエボエーアイ} （高浜市）を法人設立。STATION Ai 会員となり継続支援を実施。

◎ 2025 年度事業について

内容		回数 (予定)	実施日 (予定)
ACTIVATION Lab	セミナー	年2回実施	5月頃 10月～2月頃
	勉強会	年2回実施	6月頃 10月～2月頃
	ワークショップ	年2回実施	7月頃 10月～2月頃
	メンタリング	年2期実施	7月～10月頃 12月～3月頃
STAPS	夏期開催	全6日間	8月～9月頃
	春期開催	全6日間	2月～3月頃
領域特化プログラム	Aichi Manufacturing Acceleration Program	年1期実施	10月～3月頃
	Aichi GX Acceleration Program	年1期実施	10月～3月頃
SKIP Focus	オープンイノベーションプログラム	年2期実施	5月～未定

2 エコシステム形成事業

愛知県では、STATION Ai を中核としたスタートアップ・エコシステムの形成に向けた多様な取組を行っています。

(1) あいちスタートアップスクール

小中高生を対象に、模擬会社設立ワークショップなど、各世代に応じた起業家育成プログラムを実施しました。

◎ 2024 年度事業概要

① 小中学生向け起業家育成プログラム

小中学生を対象に、起業家による講演や模擬会社設立ワークショップを実施。プログラムを通じて、新しい価値を創造する力を育み、他者と協働しながら自分の考えを持って課題解決に取り組む人材を育成。

② 高校生・高専生向け起業家育成プログラム

基礎編・応用編に分けプログラムを実施。基礎編では、起業家講演により起業の実例を学ぶとともに、ビジネスアイデアを立案するグループワークを実施。応用編では、自分が実現したい事業アイデアを実現性の高いプランに仕上げるために、起業家による講演やメンターによるアドバイスを実施。

③ 出張授業

高校生等を対象に、多様なキャリアの選択肢を知る機会や、どのような職業についても必要となるアントレプレナーシップ（チャレンジ精神、創造性等）の重要性を理解する機会を提供。県内の高校等に対し、総合的な探究の時間等で起業家等による出張授業を実施。

◎ 事業の成果

項目	内 容
小学生プログラム	参加者数：251 名
中学生プログラム	参加者数：61 名
高校生基礎編プログラム	参加者数：14 名
高校生応用編プログラム	参加者数：10 名
出張授業	15 校 参加者数：2,960 名

◎ 2025 年度事業について

2024 年度に引き続き、新たな価値を創造する若年層の人材発掘・育成に向け、小中高生が早期に起業について知り、課題の発見や解決に向けた主体的な取組を取り入れたプログラムを実施するとともに、出張授業を 20 校に拡充し更なる若年層の起業に対する意識の醸成を図ります。

内容	会場数	募集期間(予定)	実施日(予定)
小学生プログラム (3 時間コース)	4 会場	6 月中旬～ 7 月下旬	8 月
中学生プログラム (2 日間コース)	4 会場	6 月中旬～ 7 月中旬	7 月
高校生基礎編プログラム (4 日間コース)	3 会場	6 月中旬～ 8 月初旬	8 月

高校生応用編プログラム (4日間コース)	1会場	6月中旬～ 10月中旬	10月～12月
出張授業	20校	4月～10月	6月～2月

(2) AICHI STARTUP BATTLE

◎ 2024 年度事業概要

起業確度が高い者等を対象として、知見・資金両面でサポートする、起業支援一体型の起業家ビジネスプランコンテストを実施しました。

① アクセラレーションステージ

革新的なアイデアで起業しようとする者が、起業に必要な知識を身に付けるとともに、各自のアイデアを先輩起業家等によるアドバイスを受けながらブラッシュアップする場を提供。

② コンテストステージ

ビジネスプランコンテストへの登壇に向けた、ピッチスキルのブラッシュアップ等を支援するとともに、プログラム参加者の状況に応じたメンターによる個別面談（メンタリング）を実施。さらに STATION Ai において、賞金付きのビジネスプランを発表する場を提供し、資金調達等の事業展開を支援。

◎ 事業の成果

項目	内 容
アクセラレーションステージ コンテストステージ	応募者数：54 名 プログラム参加者数：19 名 登壇者数：10 名 コンテスト観覧者数：79 名

◎ 具体的な成果事例

会社名等	事業概要
株式会社 ^{ゲンバ} GEMBA (優勝：賞金 300 万円)	モノづくり企業の現場巡回作業をデジタル化して現場改善を滑らかに加速する DX サービス「デジパト」
株式会社 ^{ヨリドリ} yolidoli (2 位：賞金 200 万円)	日本の高品質な医療を中国人向けにオンラインで予約から決済まで提供する医療ツーリズム予約プラットフォーム
株式会社 ^{イザナ} IZANA (3 位：賞金 100 万円)	どこでも使える、超高感度磁気センサ

◎ 2025 年度事業について

2024 年度に引き続き、ビジネスアイデアのブラッシュアップ及び、ピッチスキルの向上やメンタリングを通じて事業化の後押しを継続して実施するとともに、資金調達や事業連携の機会を創出するビジネスプラン発表の場を提供することで、地域から世界に羽ばたくスタートアップの創出と成長支援を一層強化していきます。

内容	実施日(予定)
事業募集・説明会・選考	6月～8月
アクセラレーションステージ	8月～10月
コンテストステージ	11月～1月
ビジネスコンテスト	2月

(3) AICHI NEXT UNICORN LEAGUE

◎ 2024 年度事業概要

ユニコーン企業となり得る成長見込みの高いスタートアップに対して賞金付きのピッチコンテストを3回開催し、事業推進に必要な資金を支援しました。

◎ 事業の成果

内 容
【シーズン1：テーマ 産業イノベーション】 応募者：62名 登壇者数：10名 観覧者数：151名 【シーズン2：テーマ ソーシャルイノベーション】 応募者：87名 登壇者数：10名 観覧者数：142名 【シーズン3：テーマ グローバルトレンド】 応募者：79名 登壇者数：10名 観覧者数：160名 ※シーズン3はTechGALA Japan内で実施

◎ 具体的な成果事例

会社名等	事業概要
匠技研工業株式会社 (シーズン1 優勝：賞金 500 万円)	工場経営の根幹である「値決め」を DX するオールインワン・システム「匠フォース」
ファクトリーエックス 株式会社FACTORYX (シーズン1 2位：賞金 300 万円)	生産性・収益性を向上させる「在庫戦略モデル」の開発・展開
クオステラ 株式会社Quastella (シーズン1 3位：賞金 200 万円)	AI 品質管理で細胞産業に革命を
アイティップス株式会社 (シーズン2 優勝：賞金 500 万円)	日本の現場とインドの職人を繋ぐ「 オヤカタ oyakata」
カテ 株式会社CaTe (シーズン2 2位：賞金 300 万円)	心疾患などの様々な疾患を改善する運動と医療のプラットフォーム
株式会社チャイルドサポート (シーズン2 3位：賞金 200 万円)	LINE で始める養育費請求&あんしん養育費支払保証
ソータス Sotas株式会社 (シーズン3 優勝：賞金 1,000 万円)	化学産業をネクスト自動車へ、日本初の化学 E コマースを創出

◎ 2025 年度事業について

2024 年度に引き続き、ユニコーン企業となり得る高い成長ポテンシャルを有するスタートアップを対象に、賞金付きピッチコンテスト（3 回）を継続して開催し、各回のテーマに応じた事業領域での挑戦を後押しするとともに、資金調達や事業提携の機会を創出することで、次世代を担う有望なスタートアップの誘引と飛躍的な成長を支援していきます。

（4）あいちスタートアップ創業支援事業費補助金（起業支援金）

◎ 2024 年度事業概要

スタートアップにとって最重要課題の 1 つである資金について、起業支援金による直接支援を実施。また、起業支援金支給に留まらず、伴走支援を併せて実施し、起業後の成長に効果的に寄与しました。

◎ 事業の成果

内 容
応募件数：117 件 起業件数：18 件

◎ 2025 年度事業について

スタートアップ創出のため資金面の支援を拡充すべく、採択数を 20 件から 30 件に増加し、支援体制を強化します。

内容	実施日（予定）
説明会・公募期間	5 月～6 月
交付決定	7 月
補助対象事業期間	7 月～1 月

（5）東海研究開発 1 号投資事業有限責任組合への出資

◎ 2024 年度事業概要

名古屋大学と岐阜大学を運営する東海国立大学機構が、同機構の孫会社である株式会社 Central Japan Innovation Capital を通じて組成する「東海研究開発 1 号ファンド」に対し、愛知県が 5 億円を出資しました。ファンドへの出資を通し、ディープテックスタートアップの育成及び大学の研究成果の社会実装を支援します。

（6）AICHI DEEPTech LAUNCHPAD

◎ 2024 年事業概要

破壊的イノベーションを創出し、社会課題を解決する可能性が高いディープテックスタートアップの技術の社会実装支援を実施しました。

① アクセラレーション

愛知県の産業構造と親和性の高いディープテックスタートアップを募集。6社（研究開発費支援あり：2社、支給なし：4社）を採択し、各分野の専門家による伴走支援、競争的資金獲得等の総合的な成長サポート、コミュニティ形成等を実施。

<全採択スタートアップ共通>

- ・スタートアップ支援の専門家や各産業の専門家によるメンタリング・伴走支援
- ・事業会社（特に愛知県企業）とのマッチング機会の提供
- ・今後の資金調達や公的資金（特に NEDO 等の事業）の獲得に向けた支援
- ・経営戦略・コミュニケーション・資金調達等の教育プログラム
- ・デモデイにおける発表機会の提供

<研究開発費支援の採択スタートアップのみ>

- ・最大 4,000 万円の研究開発費の支援
- ・ディープテックスタートアップ支援の専門家による研究開発サポート

② ファンダメンタルサポート

「経営に必要なマインドスキル」、「人材採用・文化づくり」、「知財・法務戦略」、「資金調達」等をテーマにディープテックスタートアップ経営スキル向上に向けた公開講座を県内大学に出向いて学生や教員向けに実施。またミートアップイベントを開催し、ディープテック関係者のネットワークづくりを実施。

◎ 事業の成果

支援の結果、採択各社の(i)事業成長に必要な知見の獲得による事業成長、(ii)パートナー候補企業や投資家とのネットワーク形成、(iii)県内外事業会社や県内外大学と共同研究開始(iv)投資家との資金調達交渉が大幅に前進などの効果が見られました。これらの進捗は事業内の3度のミートアップや事業外のイベントやカンファレンスで発表されました。

◎ 具体的な成果事例

会社名	事業概要
イルミメディカル株式会社 (医療機器)	JSR 株式会社等との共同研究契約締結(2024 年 10 月) 東洋経済「すごいベンチャー100」に選出(2024 年 9 月)
株式会社ソラマテリアル (素材)	イノベーションリーダーズサミット2024 にて最優秀賞受賞 (2024 年 12 月)
株式会社 ^{ヘリカルフュージョン} Helical Fusion (環境・エネルギー)	^{インベスター デイ アソシエイテッド ウィズ ス テック トウキョウ} Invetor Day Associated with SusHiTech Tokyo 海外投資家向けピッチコンテスト優勝等多数受賞 (2024 年 5 月)
株式会社 ^{フェロトキユア} FerroptoCure (製薬)	県内外大学との共同研究締結 東洋経済「すごいベンチャー100」に選出(2024 年 9 月)

◎ 2025 年度事業について

破壊的イノベーションを創造、社会課題を解決する可能性の高いディープテックスタートアップを創出するため、引き続き、アクセラレーションとファンダメンタルサポートを実施します。また、2023・2024 年度採択されたスタートアップについても継続して成長サポートを行います。

(7) ダイバーシティ推進事業（2025 年度新規）

◎ 2025 年度事業について

本事業は、STATION Ai の開設を契機に、スタートアップに関する多様な人材の集積と交流を促進し、イノベーション創出の基盤を強化することを目的とし、女性起業家や研究者、学生を対象に、ダイバーシティ推進に資するプログラムを実施します。テーマに応じた KPI の設定や、コーディネーターの配置、ワークショップの開催などを通じて、実効性の高い支援体制を構築します。

(8) TechGALA Japan

◎ 2024 年度事業概要

国内外のスタートアップ、事業会社、投資家、研究機関など多様なステークホルダーが一堂に会し、最先端の技術やビジネスに関する知見を共有するとともに、国際的なネットワークの構築や協業の機会を創出する場である「TechGALA Japan」を 2024 年度に初開催しました。

① コンセプト・イベント名

地球の未来を拓くテクノロジーの祭典「TechGALA Japan」

※GALA はフランス語で「祭典」を意味し、イベント名全体として「テクノロジーの祭典」を表す

② 会期・会場

- ・会期：2025 年 2 月 4 日（火）から 2 月 6 日（木）まで（3 日間）
- ・会場：〔1、2 日目〕 栄地区（中日ビル、ナディアパーク、オアシス 21 など）
〔3 日目〕 鶴舞地区（STATION Ai）

③ コンテンツ

- ・著名スピーカーによるキーノートスピーチ
- ・国内外のスタートアップや事業会社、投資家等によるセッション
- ・国内外のスタートアップによるピッチコンテスト
- ・商談のきっかけを創出する企業展示
- ・事業会社とスタートアップによるスピードディティンク（商談会）
- ・サイドイベント（TechGALA の参加者が、自主的に企画・運営するイベント）

◎ 事業の成果

項目	内容	項目	内容
登録者数	5,662 名	セッション数	103 回
来場者数	5,017 名	企業展示数	142 社
総セッション参加者数	9,637 名	サイドイベント数	90 件
商談数	832 件	来場メディア数	41 社

◎ 2025 年度事業について

2024 年度に引き続き、2026 年 1 月に「TechGALA Japan 2026」を開催します。

- ・会期：2026 年 1 月 27 日（火）から 1 月 29 日（木）まで（3 日間）
- ・会場：[1、2 日目] 栄地区（中日ビル、ナディアパーク、オアシス 21 など）
[3 日目] 鶴舞地区（STATION Ai）

- ・実施主体：Central Japan Startup Ecosystem Consortium[※]

※構成組織：愛知県、名古屋市（事務局）、浜松市、一般社団法人中部経済連合会、名古屋大学、岐阜県、三重県、静岡県をはじめ 327 企業・団体・大学等

（9）県内連携（STATION Ai パートナー拠点事業）

◎ 2024 年度事業の概要

愛知県内各地域において、主体的にスタートアップ支援に取り組む機関を「STATION Ai パートナー拠点」と位置づけ、県内全域にわたるスタートアップ・エコシステム形成を促進しました。

① エコシステム形成支援統括マネージャー設置事業

県内各地域を支援する統括マネージャーを 3 名配置し、自治体やスタートアップ支援機関等（以下「自治体等」という。）を対象に、支援プログラムの実施や地域の実情に応じたアドバイザリー業務を実施。

- ・スタートアップと地域のビジネス共創プログラムの実施（実践の場）

自治体等を対象に、スタートアップ支援の実践機会を提供するためのプログラムとして、「AICHI CO-CREATION STARTUP PROGRAM^{コ-クリエーション}2024」を実施。

- ・中部イノベーションコミュニティの実施（学びの場）

自治体等を対象に、ワークショップ、マッチング、分科会などを通して、スタートアップとの共創に向けた学びやスタートアップと交流ができる機会を提供。

② パートナー拠点エリアスタートアップ機運醸成支援事業

県内各地域で行われてきたスタートアップ・エコシステムの形成に向けた取組の発表を行うとともに、自治体等とスタートアップとの共創可能性について、地域の垣根を越えて議論するイベントを開催。

◎ 事業の成果

内 容	実績
ビジネス共創プログラムにおける参加自治体・支援機関等	47 団体
中部イノベーションコミュニティにおけるワークショップ等の開催	12 回
「あいちスタートアップ・エコシステム共創カイギ」の参加者	155 名

◎ 具体的な成果事例

東三河スタートアップ推進協議会、及び大府市・東浦町を中心とするウェルネスバレー推進協議会に続き、2024 年 11 月に、刈谷地域において中小企業のイノベーション創出、推進やスタートアップ企業との連携、共創に取り組む「刈谷イノベーション推進プラットフォーム」をパートナー拠点に位置付けました。

◎ 2025 年度事業について

統括マネージャーを 3 名配置し、パートナー拠点の設立促進に向けて以下のプログラムを実施します。

内 容	実施期間 (予定)
自治体等にスタートアップ支援の実践機会を提供し、スタートアップと地域の自治体等とのビジネス共創プログラム「AICHI CO-CREATION STARTUP PROGRAM2025」の実施	4 月～3 月
スタートアップや自治体等が定常的に接点構築できるコミュニティの運営と、コミュニティ内での勉強会及び交流会の実施	4 月～3 月
パートナー拠点がスタートアップ・エコシステムの形成に向けて取り組んだ成果を打ち出すイベントの実施	1 月

(10) 県外連携

① 東京都との連携・協力に関する協定を締結（2024 年 12 月）

「STATION Ai」と「Tokyo Innovation Base」という、スタートアップ・エコシステムの核となる 2 つ拠点の連携を始め、愛知県と東京都がともに革新的なビジネスモデルを生み出すことにより、世界中から多くの投資家や企業を誘引する国際イノベーション都市の形成を目指します。

② 京都大学イノベーションキャピタル株式会社と連携協定締結（2024 年 7 月）

スタートアップの支援・育成分野において、スタートアップの成長に向けた支援と投資の積極的な推進を図り、スタートアップによるイノベーションの創出を目指します。

< 概要 >

所在地	名古屋市昭和区鶴舞1丁目2番32号
面積	敷地面積 約 7,300 m ² 、延床面積 約 23,600 m ²
施設内容	鉄骨造地上7階 スタートアップ・パートナー企業等向けオフィス、テックラボ、イベントスペース、宿泊施設、託児施設、カフェ・レストラン、あいち創業館 等



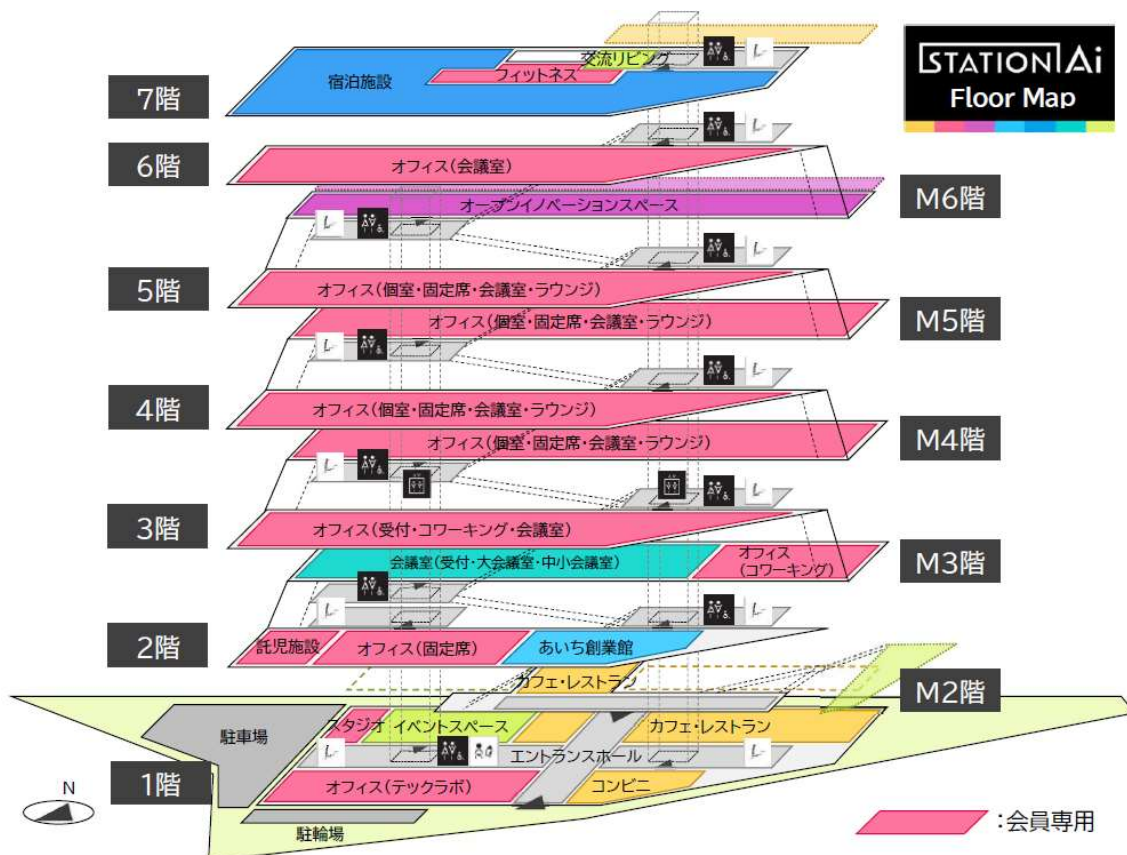
< 施設機能 >

スタートアップやパートナー企業向けに、用途に応じた**オフィス会員プラン**の提供及び、スタートアップ支援拠点として価値を向上するための**会議室**等の貸し出し、**テックラボ**等の各種サービスの提供を提供する。

また、オフィスの用途だけでなく、一般の方も利用できる**会議室**や**飲食スペース**などを設けることで、地域住民のコミュニティ形成を促進する。

加えて、遠方からの滞在を想定した**宿泊施設**を設置するとともに、子育てと事業成長の両立を支援するために**託児施設**の運営、**コンビニエンスストア**や**駐車場・駐輪場**の運営も行い、来訪者の利便性が高い施設となっている。

< フロアマップ >



オフィス会員プラン

個室席



拠点として利用しやすいセキュリティを確保したスペース

固定席



相談窓口として利用しやすいオープンな専有スペース

コワーキング席



偶発的な出会いを生むフリーアドレスで自由なスペース

エントランス・飲食スペース



テックラボ



託児施設



宿泊施設



(参考2) PRE-STATION Ai について

- 運営機関：2020年1月16日（2020年1月16日に「STATION Ai 早期支援拠点」として開設した後、STATION Ai の主要機能を概ね備えるために新たな機能を充実して、2021年4月1日に「PRE-STATION Ai」に改称）。2024年9月をもって閉鎖。
- 場 所：WeWork グローバルゲート名古屋(名古屋市中村区平池4-60-12)